

ニュースレター 2006年1月 第1号新版

この最新版をできるだけたくさんの方に回覧してください。

(もしもこのニュースレターを購読したいなら、WASLI事務局：
wasli.secretary@btinternet.com まで、連絡先を送付ください)

新年おめでとう

- 「会則」完成する -

会則が完成しました。ご希望の方は上記事務局e-mailアドレスまでお申し込みください。
南ア会議以降、この会則が完成するまでに長い時間と膨大な仕事が必要でした。

12月31日の作業完了までにご協力いただいたみなさんに厚くお礼申し上げます。

この会則は、準備ができ次第、ホームページ上にアップいたします。

- ウスター宣言が承認される -

2005年12月18日、南ア会議に出席した33カ国に文書が送付されました。この文書は各代表者にその国の出席者全員に連絡を取って、ウスター宣言の承認を求めてもらうためのものです。回答送付期限は2006年1月13日でした。

現在のところ、下記の国から回答があり、そのすべての国がウスター宣言を承認しています。

・オーストラリア、アルゼンチン、イングランド・ウェールズ・北アイルランド、ブラジル、カメルーン、フィンランド、ドイツ、香港、リトアニア、ケニア、マダガスカル、マレーシア、オランダ、ナイジェリア、パレスチナ、サウジアラビア、スペイン、スウェーデン、米国、ジンバブエ

- 仕事が始まる 作業プログラム2005-2007が完成 -

今後の必要な作業内容を詳細に定めた「WASLI作業プログラム2005-2007」が15ページの文書として完成しました。理事会と共同作業者は有志の協力を得て、仕事を開始します。

- WASLIに参加するのはいつ? -

参加できるのはいつになるのか知りたがる人が多数います。会員要件はまもなく準備ができます。個人会員を含めて会費一覧表はまもなく完成し、申込用紙と申込手続きもまもなく稼動し始めます。最新版をもうすぐお知らせできるでしょう。

- WASLIのホームページは? -

世界中とコミュニケーションするのに効率的な手段であるホームページの優先順位は高いものがあります。現在のアドレスの「www.rid.org/wasli」は今後使用されません。新しいホームページを準備中です。最新版をもうすぐお知らせできるでしょう。

- 2007年マドリード会議 -

W A S L I 会長は、スペインろう連盟の役員と共に、近日中に W F D 理事長と面談します。2006年2月または3月には2007年の W A S L I 会議についてのお知らせができることでしょう。

-理事と共同作業者はだれ？-

役員

- ・会長 リズ・スコット・ギブソン（スコットランド）
- ・副会長 フィルモン・アカチェ（南アフリカ）
- ・事務局長 ゼイン・ヒーマ（英国）
- ・会計 リズ・スカリー（カナダ）

地域代表

- ・北アメリカ：デブ・ラッセル（カナダ）
- ・アジア：市川恵美子（日本）
- ・中央アジア：アンナ・コマロヴァ（ロシア）
- ・欧州：マルコ・ナルディ（イタリア）
- ・南アメリカ：協議中
- ・アフリカ：協議中

共同作業者：ダニエル・バーチ（米）、ビル・ムーディ（米）、ニジェル・クリーバー（英）、アルン・ラオ（インド）、フランソワ・ディーゼル（南アフリカ）、伊藤正（日本）、クヌド・ソンデルガード（W F D）

連絡先：wasli.secretary@btinternet.com

世界の仲間たちのニュース

英国

-W A S L I のための募金-

R A D（王立ろう者支援協会）の有志グループが、クリスマスディナー募金を実施し、W A S L I のために350ポンドを集めました。ありがとうございます。

www.rad.org.uk または www.asli.org.uk

マダガスカル

-南アフリカ後の報告-

テオドリック・ラジャオナリー（マダガスカル）は、報告書をマダガスカルろう者連盟委員会に提出し、W A S L I 記者発表資料を地元紙に配布した、と報告しています。

rajaonary2525@yahoo.com

マルタ

-全国組織を作り始める-

マリア・アゾパルディ（マルタ）は、「いいニュースです。協会設立に向けて動き始めています。協会の目的は、私たちへの研修であり、専門性を高めることであり、お互い協

かし合うことです。」と報告しています。

マルタの通訳者の連絡先：interpreters.lsm@gmail.com

オーストラリア

-通訳についての本がまもなく出版-

ジェマイナ・ネピア（オーストラリア）は、「2006年1月末に出版される予定の本が興味を引くかもしれません。題名は「手話通訳：オーストラリアとニュージーランドにおける理論と実践」です」

オーストラレーシア(オーストラリア、ニュージーランド、近くの島々を含む地帯)という状況下での手話通訳のために書かれたものではありませんが、音声言語通訳や世界の手話通訳にもふれています。

詳細は...<http://www.federationpress.com.au/bookstore/book.asp?isbn=1862875839>

ジンバブエ

-全国組織を立ち上げるために取り組む-

HIVやエイズについての手話通訳の研究集会在ジンバブエで最近開催されたことをお知らせすることをうれしく思います。その際に私から全国組織を設立する必要性を説明しました。

通訳者たちは、参加者が手話通訳について同一の知識や基本的技術を持つために、最初に演習することが重要であることに同意しました。

私は南アの会議について参加者に説明しました。基本的な通訳の訓練の後に、ろう者と自由にコミュニケーションできるようになる、と話す人が多くいました。

ジンバブエ各地からの参加者の中には、私が各地を訪問して手話通訳技術を獲得させる必要性を強調する者もいました。私は財政上の制約があってそうはできないと繰り返し説明しました。

この報告はピースウェイ・ズブムヌイカです。

連絡先：zvomunyika@yahoo.com

スウェーデン

-ブラジルに中古パソコンを寄贈-

南アフリカで、中古コンピューターを持参したスウェーデン代表団は、全国組織の立ち上げに取り組んでいる国または最近2年間で全国組織を立ち上げたところにそれを寄贈しようとしていました。

これに該当し関心がある国すべての名前を帽子に入れて当選者を決めました。当選者はブラジルでした。

寄贈したい中古の設備やパソコンを持っている人は、他にも多数の支援が必要な国がありますのでWASLI事務局までご連絡ください。

ニュージーランド

-初めてろう者が陪審員に-

ろうのビクトリア大学講師がニュージーランドでおそらく史上初の陪審員を務めることになったのは手話通訳者のおかげです。

<http://www.stuff.co.nz/stuff/0,2106,3466745a11,00.html>

トリニダードトバゴ

-ろう者社会が手話通訳者の不足に苦しむ-

「わが国にはもっと多くの手話通訳者が必要だ」アガペろう者センターのイアン・ダノラルは「ろう者の日」に述べた。

http://www.trinidadexpress.com/index.pl/article_news?id=119440993

ジャマイカ

-ろう者のための特別の運転免許試験-

議会野党のジョセフ・ヒバートは、全ろう者への運転免許交付についての政府からの回答を求めている。

http://www.jamaicaobserver.com/news/html/20051105T210000-0500_91884_OBS_HIBBERT_CALLS_FOR_SPECIAL_DRIVER_S_TEST_FOR_DEAF_BEFORE_ISSUING_LICENSES_.asp

シンガポール

-ろう者インド人パフォーマーが音楽なしで踊る-

音楽なしで踊る－最近17年間ろう者と共に働いているアスタド・デボー氏のもとで、学校の生徒はそういう教育を受ける。

<http://www.channelnewsasia.com/stories/singaporelocalnews/view/176802/1/.html>

日本

-ろう者運転免許の見直し-

最近まで日本の道路交通法は、ろう者が運転免許を取得することを完全に禁じていた。

<http://mdn.mainichi-msn.co.jp/national/news/20051102p2a00m0na023000c.html>

イスラエル

-ろう者外国人労働者が入国管理官に殴打される-

ろう者外国人労働者が、勤務しているテルアビブのレストランで、水曜日の朝に入国管理官にひどく殴打された。

<http://www.haaretzdaily.com/hasen/spages/643633.html>

オーストラリア

-エリンの健闘が期待される-

16歳のリバーサイド高校の生徒であるエリン・ターナーは、メルボルンで開かれる水泳の太平洋高校対抗試合を楽しみにしている。彼女はスターターの銃声が聞こえないのだけ

ど。

<http://www.examiner.com.au/story.asp?id=316183>

フィリピン

- コーヒーを飲みながら新しい言葉を学ぶ -

若いうち起業家が経営するこの喫茶店では、お客はコーヒーやサンドイッチを注文するときに手話を使用するようにすすめられている。

http://news.inq7.net/metro/index.php?index=1&story_id=55603

米国

- 手話コミュニティを作り始める男 -

ミラーは、将来のローレント地区には、あらゆる履歴や経験の持ち主が住人としてやって来るだろうが、手話でコミュニケーションできることが唯一の共通条件になる、と述べた。

<http://www.redandblack.com/vnews/display.v/ART/2005/10/17/4352ec229111f>

レバノン

- 忠実の手話 -

ダレン・ジレスピー師が、レバノンメソジスト協会の会長に就任するために、レバノンに6月に移転したときに、家族だけではなく一人の通訳者を同行させた。

<http://www.lebanonenterprise.com/articles/2005/11/23/news/news02.txt>

カナダ

- ろう者の献血禁止を再考する -

カナダ血液サービスは、適切なモットーを保有している「輸血は権利であり、献血は特権である」

http://www.thestar.com/NASApp/cs/ContentServer?pagename=thestar/Layout/Article_Type1&c=Article&cid=1132354212801&call_pageid=968256290204&col=968350116795

次号：さらに多くのニュースと情報がWASLIから。

掲載したいニュースや情報をお持ちの方は、下記emailアドレスのWASLI事務局までその内容を送付ください。

wasli.secretary@btinternet.com"

《役員》

- ・会長 リズ・スコット・ギブソン（スコットランド）
- ・副会長 フィルモン・アカチェ（南アフリカ）

・事務局長 ゼイン・ヒーマ（英国）

・会計 リズ・スカリー（カナダ）

地域代表

・北アメリカ：デブ・ラッセル（カナダ）

・アジア：市川恵美子（日本）

・中央アジア：アンナ・コマロヴァ（ロシア）

・欧州：マルコ・ナルディ（イタリア）

・南アメリカ：協議中

・アフリカ：協議中

共同作業者：ダニエル・バーチ（米）、ビル・ムーディ（米）、ニジェル・クリーバー（英）、アルン・ラオ（インド）、フランソワ・ディーゼル（南アフリカ）、伊藤正（日本）、クヌド・ソンデルガード（WFD）